

実付き枝物として利用可能なクラブアップルの品種

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

近年、リンゴ生産において単一の品種を栽植する「単植化」に対する生産者の要望が強まっている。単植化におけるリンゴ授粉樹としてクラブアップルの利用が想定されているが、クラブアップルからの副次的収入をねらって実付き枝物出荷に適した品種を選定したので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 「Red Splendor Crab」, 「Snowdrift Crab」, 「Redbud Crab」, 「David Crab」は、9月から12月の枝物需要期に出荷可能なクラブアップルである(表1)。
- 2) 「Red Splendor Crab」は、果実の色が赤色で、果実横径が14mm程度、果形は円形で、12月中旬まで出荷できる(表1)。
- 3) 「Snowdrift Crab」は、果実の色が朱色で、果実横径が11mm程度とやや小さめで、果形は円形で12月上旬まで出荷できる(表1)。
- 4) 「Redbud Crab」は、果実の色が鮮赤色で美しい。果実横径は12mm程度、果形は円形で12月後半まで出荷できる(表1)。
- 5) 「David Crab」は、果実の色が鮮赤色で透明感があり、果実横径が14mm程度、果形は扁円形で12月後半まで出荷できる(表1)。

3 利活用の留意点

- 1) 9月から12月は花展が多く開催され、ブライダルシーズンでもあり、実付き枝物の需要が多い。また、秋の枝物としてはナナカマドやナンテンが流通しているが、クラブアップルは枝ぶりや果実の艶などがナナカマドやナンテンなどと比較して新規性があり、市場からの評価は高い。
- 2) 実付き枝物として市場性があるのは、果実横径15mm以下の品種である。
- 3) 通常のリンゴと同時防除できる。
- 4) 「Red Splendor Crab」, 「Snowdrift Crab」, 「Redbud Crab」, 「David Crab」は「ふじ」に対して交雑和合性がある。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間 クラブリンゴの有効活用による授粉樹確保と花材としての新需要創出(平成16~20年度)

2) 参考データ

表1 クラブアップル果実の形態的特性

品種名	果実			採枝限界		備考	判定 ^y
	色	縦径(mm)	横径(mm)	果形	時期 ^z		
Dolgo Crab	濃赤	34	31	円筒	9/上	落果極早	×
Coronaria Challotae	黄	34	45	扁円	10/下	特大, 開花期極遅	×
Ormiston Roy Crab	黄	12	12	円	10/下	褐変目立つ	
Sargent Crab	鮮赤	6	8	円	10/下	小果, 枝伸び悪い	
Makamik Crab	薄赤	19	21	円錐	11/上	がく奴残,	
Eley Purple Crab	黄緑	10	11	円	11/上	褐変目立つ, 雄性不稔	×
Crimson Glory	黒赤	15	15	楕円	11/中	がく奴残	
American Beauty	赤	14	17	扁円	11/中		
Van Eseltine	緑黄	12	13	扁円	11/中	がく奴残, 汚い	×
Aldenham Purple Crab	暗赤	21	26	扁円	11/下		
Snowdrift Crab	朱	9	11	円	12/上		
Beverly Crab	赤	13	15	円	12/上		
Red Splendor Crab	赤	12	14	円	12/中	透明感無し	
Peachleaf Crab	赤	18	19	楕円	12/下		
Redbud Crab	鮮赤	10	12	円	12/下	きれい	
David Crab	鮮赤	11	14	扁円	12/下	透明感有り, きれい	

z: 落果または果実の萎縮等で鑑賞期間が終了したと思われる時期

y: 実付き枝物として, ○: 有望, ×: 不適, △: 用途によって可



Red Splendor Crab



Redbud Crab



Snowdrift Crab



David Crab

図1 クラブアップルの結実状態

3) 発表論文等 なし